

令和5年度 会館だより 第2号

歓迎会・法人役員紹介

岩手県学生会館
令和5年6月9日発行

4年ぶりに歓迎会開催

5月13日(土)に4年ぶりの岩手県学生会館歓迎会が開催されました。寮生のみでの参加ということで規模縮小とはなりましたが、新入寮生のみならずほとんどの寮生が歓迎会を経験しておらず、2年目以上の寮生も多く参加し、久しぶりの交流の場を楽しんでいる様子がかがえました。新入寮生は、すでに4月のオリエンテーションで打ち解けた雰囲気を感じていましたが、歓迎会でさらに距離が縮まったようでした。



自治会唯一の男性役員の音頭で乾杯！



↑ 自治会書記の開会で歓迎会が始まりました。
↓ 自治会長からの歓迎のあいさつ！



会食を通しながらたくさん笑顔も見られました。





先輩方との距離も縮まりました。



参加者全員で記念撮影



歓迎会の準備・運営に携わった自治会役員の皆様、ありがとうございました。

令和5年度
公益財団法人岩手県学生援護会役員

- ◎代表理事
松橋 公治
(明治大学教授)
- 副代表理事
永田 浩一
(全国通運代表取締役社長)
- 業務執行理事
砂金 良明
(元東京放送総務部長)
- 理事
坂本 已由
(社会福祉法人評議員)
小野寺麻利子
(作家 藤沢摩彌子)
中塚 真
(岩手県学生会館館長)
- 評議員
菅原 智広
(岩手日報社取締役東京支社長)
松本 真一
(岩手銀行執行役員東京営業部長)
柴田彩千子
(東京学芸大学准教授)
及川 良一
(全国高等学校長協会顧問)
村井 雄一 (中央コンピューターシステム代表取締役社長)
石森 寛
(画 家)
桜庭 昌吾
(野田はまなす会顧問)
- 監事
平井 省三
(岩手県東京事務所長)
千葉 健夫
(社会保険労務士)
- 相談役
谷藤 裕明 (岩手県市長会)
青木 幸保 (岩手県町村会)
千葉 幸也 (岩手県総務部長)
佐藤 一男 (岩手県教育長)

○顧問

志賀かう子 (エッセイスト)
鈴木 勲 (日本弘道会会長)

学生会館職員

○館長 中塚 真
○書記 樺澤理恵子

主たる委託業者

- ・建物包括管理
二幸産業株式会社
- ・給食業務
株式会社グリーンハウス
- ・日常清掃
株式会社ワールドクリーンアップ

卒寮生からひと言

寮生活を終え、この4月から社会人として巣立った方々がいます。同じ屋根の下で暮らした仲間です。新入寮生を始め後輩諸君への思いを込めてメッセージを残してくれました。これからの東京での生活の参考にしてください。

千葉恭葵

入寮を決めたのは助産師学校の受験結果がまだ分からない時期でした。母にこれから課題や実習、研究、国家試験と濃密な1年になり身の回りのことなどできなくなるんだからと勧められなんとなく入寮した1年前。母の言う通り、学校生活が始まり、1年という短い期間でしたが実感として3年くらいいたように感じるくらい毎日が濃密で充実していました。そんな生活の中10月から12月末まで約3ヶ月の分娩実習が始まりました。妊娠期から産後まで継続で受け持たせていただくお母さんの出産に尽かしてもらうため、24時間オンコール体制。トイレ、お風呂、食事中ずっと連絡がきていないかそわそわする毎日。病院から連絡を受け、終電間際に走って病院に向かい無事に分娩介助ができたのも今ではいい思い出です。

1年を乗り越え、入学当初は多重課題なんてできないというネガティブな思考でしたが、今ではこなしてきた課題一つ一つが自信に繋がり、自分は

できるんだという思考に変わりました。とはいうものの、途中で前を向けなくなることも何度もありましたし、自分の不甲斐なさに何度も泣きました。そのような生活の中、毎日寮では温かいごはん、お風呂の提供はとても私に合っていました。22年間、私の夢のために経済的にも、精神的にも支えてくれ、入寮を勧めてくれた家族には感謝していません。ありがとう。

そして、いつも優しく気に掛けてくださる館長さんや樺澤さんにはいつも救われていました。本当にありがとうございました。また、毎日美味しいお食事を提供してくださっていたGreenHouseの方、身の回りをきれいにしてくださっていた掃除の方本当にありがとうございました。ここでの生活は一生忘れないくらい、本当に本当に恵まれていました。

支えてくださったすべての方に感謝しています。4月からは社会人として働くと考え、不安が絶えませんが、不器用ながら一つ一つの経験や人脈を大切に、常に感謝の気持ちを忘れないように過ごしてまいりたいと思います。ありがとうございました。

駒場安壘

不安と期待を背負いながら家族の見送りで旅立ったあの日から4年目を迎えるようとしています。寮には優しい先輩がいたり、交流会ですぐに友達が出来たりして、生活の不安もあまり抱かず、ホームシックにもなりません。そんな思い出の詰まった寮には約4年間お世話になりました。大学生活はあっという間に終わります。後輩に言えることは、「悔いのないようにやりたいこと全部やってみよう」ということです。今しかない時間を最大限楽しんでください。私も新生活・新社会人を楽しみます。最後に、館長や樺澤さん、お世話になりました。ありがとうございました！これからは、妹をよろしく願いいたします。

小原由都

「4年間の会館生活」
みなさんこんにちは！私はこの岩手県学生会館にて4年間生活しました。改めて振り返ると辛くもありましたが間違いなく後悔ない4年間を過ごす

ことができましたと思います。当初はホームシックなど辛い部分もありました。しかし、新たな授業や友達、アルバイトなどですぐに東京生活に馴染むことができました。特に大学生活では友人がとても大切であるように感じました。一緒に旅行に行ったり、就活の愚痴をこぼし合ったり、本当に苦楽を共にしました。長くなりましたが友達は大切に、という事です。残りの大学生活を友人たちと一杯笑い楽しんでください。4年間お世話になりました、改めましてありがとうございます。

テレビ岩手「5きげんテレビ」が取材！



5月29日(月)、テレビ岩手の取材を受けました。夕食の風景や館内の様子を撮影し、自治会長の小野さんや役員の米内さんをはじめ何人かの寮生がインタビューに応え岩手県学生会館をPRしました。6月8日(木)の「5きげんテレビ」Tokyo アミーゴのコーナーで放映されました。

会館からの連絡

○ミニキッチンについて

ミニキッチンの利用について改めて連絡します。ミニキッチンは基本的に寮生の皆さんの自主管理です。調理台や電子レンジの周囲、電子レンジの中の皿やIHコンロなど使用した後汚れたままになっています。置いてある布巾でキレイに拭いた後、布巾もきちんと洗ってください。電気ポットの

お湯も補充されていないことが多いです。

全員が意識して衛生的に利用してもらいたいです。

○ゴミの分別について

各居室のゴミを倉庫のゴミ保管所に捨てる際、分別せずにまとめて捨てている人がいます。捨てる際は指示されている場所にそれぞれ分別して捨ててください。一つ一つ点検して改めて分別するのは大変な作業です。ペットボトルは中身を捨てすすいであらしてから出してください。ご協力ください。

○ランドリーの使用について

ランドリーについてマナーやルールを守らない使い方が見られます。

洗濯が終了した後もしばらく洗濯物を放置している人がいます。次の人が使えない状態です。洗濯機の中で生乾きになり、異臭の原因にもなります。また、後ろの棚にそのまま放置されていることも散見されます。時間が経過したものについては処分させていただきますので注意してください。一人ひとりが当然すべき心がけを持って皆で快適に洗濯室を使用しましょう。

○下駄箱について

5月中旬に「もの申す箱」に、下駄箱に外履きを置くようにしてほしいといった旨の投稿がありました。しかし、利用してもらっているとおり、下駄箱の上段はレターボックスとしており、下段に上履きと外履きを交互に入れることになると、館内の衛生管理上好ましくないということで、外履きは自室管理をお願いしています。

ご理解いただきご協力ください。

令和5年6月9日発行

編集並びに発行元 公益財団法人岩手県学生援護会
岩手県学生会館
同 学生自治会

住 所 東京都豊島区要町二丁目5番5号

t e l 03 (3972) 4783

f a x 03 (6676) 4471